

# 身体機能評価学演習

[演習] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》○坂上哲可 tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp 齋藤隆司

## 【概要】

評価はリハビリテーションを実践していく上で必要不可欠であり、リハビリテーションの全過程において基盤となるものである。前期の作業療法基礎評価学演習で学んだ技術を基礎として、本授業では中枢性疾患、運動器疾患、神経・筋疾患等に対する代表的な検査・測定項目について学ぶ。

## 【学修目標】

## 一般目標

1. 対象者の立場で検査測定に臨むことができる。
2. 作業療法評価で用いられる各種検査・測定の内容、適用、実施手順、解釈について理解する。
3. 対象者の心理状態について配慮できる。
4. 対象者の全体像をとらえる努力ができる。

## 行動目標

1. 各種検査・測定を実施する目的・内容について説明できる。
2. 各種検査・測定を正確に実施できる。
3. 検査・測定結果の解釈ができる。
4. 対象者へ配慮した検査・測定ができる。
5. 検査の内容から対象者の全体像をとらえることができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	骨折・腱板損傷	整形疾患に必要な検査測定方法を理解する。	坂上哲可
2	抹消神経損傷	末梢神経損傷の病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	坂上哲可
3	慢性関節リウマチ	慢性関節リウマチの病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	坂上哲可
4	脊髄損傷	脊髄損傷の病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	坂上哲可
5	熱傷	熱傷の病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	坂上哲可
6	神経・筋疾患	神経・筋疾患の病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	齋藤隆司
7	呼吸器疾患	呼吸器疾患の病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	齋藤隆司
8	心疾患	心疾患の病態を理解するとともに必要な検査測定方法を理解する。	齋藤隆司
9	Simple Test for Evaluating Hand Function (STEF)	STEFの目的を理解するとともに測定技術を修得する。	齋藤隆司
10	Motor Function Test (MFT)	MFTの目的を理解するとともに測定技術を修得する。	齋藤隆司
11	Fugl Meyer Assessment (FMA)	FAMの目的を理解するとともに測定技術を修得する。	齋藤隆司
12	Stroke Impairment Assessment Set (SIAS)	SIASの目的を理解するとともに測定技術を修得する。	齋藤隆司
13	脳卒中の動作分析	脳卒中の起居動作と正常動作を比較分析する。	坂上哲可
14	脳卒中の動作分析	脳卒中の立ち上がり動作・立位と正常動作を比較分析する。	坂上哲可
15	脳卒中の動作分析	脳卒中の異常歩行と正常歩行を比較分析する。	坂上哲可

## 【授業実施形態】

## 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による。

**【アクティブ・ラーニング】**  
導入している

**【評価方法】**  
定期試験（筆記試験）100%

**【教科書】**  
矢谷 令子 他 編 「作業療法評価学(第3版)」 医学書院 2017年  
田崎義昭 他 著 「ベッドサイドの神経の診かた（改訂18版）」 南山堂 2016年

**【参考書】**  
日本作業療法士協会 監修 「作業療法学全書3 作業療法評価学」 協同医書出版 2020年  
佐竹勝 編 「作業療法学ゴールドマスターテキスト 作業療法評価学」 メジカルビュー社 2022年  
潮美泰蔵 他 編 「PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学」 羊土社 2019年

**【学修の準備】**  
覚えなければならないことが多い科目である。また、解剖学や生理学、運動学など既習のリハビリテーション基盤科目とのつながりも強い科目であることを念頭に置くこと。  
・予習は次回の内容をシラバスで確認した上、授業範囲の教科書を読んで理解しておくこと（80分）。  
・復習は教科書、配布資料などを活用し、学修を深めること（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**  
DP2. 作業療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

**【実務経験】**  
坂上哲可（作業療法士）、齋藤隆司（作業療法士）

**【実務経験を活かした教育内容】**  
病院での多くの疾患の治療経験をもとに、知識のみならず技術的指導も時間をかけて丁寧に指導する。

**【その他】**  
この科目は主要授業科目に設定している